

語体の基本-講義

→ 問題演習 語体変換ドリル [exercise](#) [chinese](#) [expression](#)

<https://study.bem130.com/exercise/chinese/expression/語体変換ドリル-問題演習/>

1 導入

中国語にも、話し言葉と書き言葉の差がある。意味が近い語でも、会話では自然で、報告文では不自然になることがある。この差を語体として整理しないと、文法が正確でも場面に合わない文になる。

2 核心

語体は、誰に、どの場面で、どの目的で述べるかによって選ぶ。口語では短く直接的な表現が多く、書面語では接続や名詞化を伴う整った表現が増える。

Display

口語: [然后/ránhòu] [接着/jiēzhe] [给/gěi] などが頻出

書面語: [因此/yīncǐ] [随后/suíhòu] [提供/tígōng] などが現れやすい

3 直感

語体の違いは、単語の難易度だけではない。会話では処理負荷を下げるために省略や短縮が多く、書面では関係を明示するために接続語や説明句が増える。

4 主要な対比

4.1 1. 接続の差

Correct

口語: [然后/ránhòu] [我们/wǒmen] [再/zài] [说/shuō]。

[REG] 会話では短く流す接続が自然である。

Correct

書面語: [因此/yīncǐ], [我们/wǒmen] [需要/xūyào] [重新/chóngxīn] [讨论/tǎolùn]。

[REG] 因果関係を明示している。

4.2 2. 動詞の選択

Display

口語: [做/zuò] [弄/nòng] [给/gěi]

書面語: [进行/jìnxíng] [处理/chǔlǐ] [提供/tígōng]

4.3 3. 省略の有無

口語では、主語や目的語が文脈から回収できれば省略されやすい。書面語では、読者が前提を共有していないことを想定し、必要情報を明示する。

5 誤用が起こる場面

- 会話で過度に書面語を使い、硬い印象になる。
- 報告文や答案で口語を多用し、論理関係が曖昧になる。
- 同義語を自由に交換できると考え、場面との対応を崩す。

6 見分け方

- 相手が対面の聞き手か、不特定の読者かを確認する。
- 説明より応答が中心なら口語、記録や報告が中心なら書面語を基本にする。
- 接続語と動詞の選択を、語体の判定材料として使う。

7 関連リンク

→ [定石集](#) [口語書面語対照](#) [reference](#) [chinese](#) [grammar](#)
<https://study.bem130.com/reference/chinese/grammar/口語書面語対照-定石集/>

→ [問題演習](#) [語体変換ドリル](#) [exercise](#) [chinese](#) [expression](#)
<https://study.bem130.com/exercise/chinese/expression/語体変換ドリル-問題演習/>